

## 海外などの長距離輸送に最適！イチゴ輸送用容器

ライセンス契約を受けていただき 本発明の実用化を目指していただける企業様を求めます。

輸送中のイチゴの痛みを防ぐだけでなく、高級感も演出できる新規果物輸送用容器のご紹介です。

### ◆背景

日本で作られる果物、特にイチゴは形状・香り・味がとても優れているため、海外からも高い評価を得ています。しかし、輸送をすると湿気や衝突で果肉が傷んでしまい品質が低下するという問題があります。この問題に対し、容器の改良が検討されていますが、接触(果物同士、果物と容器接触)を抑えようとすると、容器内に空きスペースが増えてしまい、運搬コストが高くなるといった新たな課題が生まれていました。

### ◆発明概要

本発明はイチゴを輸送する際、傷みを抑えて品質の低下を防ぎ、かつ製造コストを低減することを実現した包装容器です。中空の容器にストッキング素材の紐やネットを張り巡らせることで、果物から出る水分はネット下に落としつつ、宙に浮かせたまま保持することができるようになりました。これによって従来の容器等との接触による傷みの予防に加え、果物から出るわずかな水分との接触による傷みを予防する事ができます。さらに、ネットのサイズや紐の張力をアレンジできる事から意匠に富んだ輸送用容器を作成する事が可能であることに加えて、従来の包装容器と比較して製造・輸送コストの低減も可能です。

👍 長距離輸送による果物の傷み、水分との接触による傷みも低減！

👍 製造・輸送コストの低減！

👍 デザインが容易に変更可能！  
→顧客ターゲットに合わせた輸送容器が作成可能

### ◆実験概要



Fig.1 本発明概略図

中空のプラスチック容器の中心から放射状に仕切りを設置し、この上にストッキング素材のネットを張る。イチゴから出るわずかな水分をネット下に落とし、水分との接触による傷みを防ぐことができる。また、最も傷みやすい先端部分が容器に衝突する事を防ぐことができる。



Fig.2 本技術を用いたパッケージング例

中空容器の形状やネットの色や配置、イチゴの配置などを自由に変更できる事から、意匠に富んだデザインが可能となるため、高級感などを付与する事もできる。

### ◆特許情報

【特許番号】  
特許第6599488号  
【発明の名称】  
果物輸送用容器  
【出願人】  
国立大学法人千葉大学  
【代表発明者】  
渡邊 誠

### ◆応用が期待される分野

・果物輸送用容器

### ◆研究状況

・イチゴでの検討済み。他の果物に対しても適用可能。

### ◆可能な連携形態

- ・ 実施許諾契約
- ・ オプション契約(技術検討のためのトライアル契約)
- ・ 共同研究

### ◆お問い合わせ先

千葉大学  
学術研究・イノベーション推進機構  
〒263-8522  
千葉市稲毛区弥生町1-33  
TEL: (043)-290-3831  
E-mail:  
beo3566@office.chiba-u.jp



CHIBA UNIVERSITY



INNOVATION  
MANAGEMENT  
ORGANIZATION